

2024



第77期 中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日

ティアック株式会社

証券コード: 6803



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2024年9月30日をもって、第77期(2024年4月1日から2024年9月30日まで)の中間期を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長
英 裕治
Hanabusa Yuji

当中間期の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続くことが期待されますが、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。このような状況の中で当社グループは、音響機器事業のうちプレミアムオーディオ機器事業では、ESOTERICブランドにおいて、高音質、高付加価値な製品展開を推し進め、ブランド価値を高めることで、海外市場を伸ばし堅実な成長路線を引き続き目指してまいります。TEACブランドにおいては、引き続き中高級機のReferenceシリーズの更なる強化により、収益とブランドイメージの向上に努めてまいります。輸入ブランドにおいては、ブランドの持つ個性を訴求することで、ブランドの定着を強化してまいります。音楽制作・業務用オーディオ機器事業では、業務用デジタルミキサーを軸としながら、周辺機器のラインナップ拡充も行っており、従来の録音再生機器とともに、

更に柔軟で質の高いトータルシステムソリューションの提供を強みとしたBtoB事業の拡大に努めてまいります。また、BtoC事業においては、製品ポートフォリオの選択と集中を進め、付加価値を明確に中高価格帯へ転換し、採算性の向上と市場シェアの拡大を目指してまいります。情報機器事業では、当社のコアコンピテンスである「高度な記録と再生技術」をベースに計測、半導体、医療、移動体の各分野において独自技術や先端技術を組込んだ製品開発を行い、ニッチトップポジションの獲得を進めます。また、積極的な訪問営業により、ターゲット顧客に当社製品に対する投資メリットの理解を促す形で拡販を図るとともに、ユーザーから直接ヒアリングした意見やニーズを新製品の開発に取り込んでまいります。

当中間連結会計期間におきましては、機内エンターテインメント機器、およびTASCAMブランドBtoC事業の内エンタリー向け現行品の販売が低調に推移したことから、売上収益及び営業利益は前年同期と比較して減少しました。また、為替相場の変動に伴い第1四半期に計上した為替差損が差益に転じたことから、親会社の所有者に帰属する中間損失は前

年同期と比較して減少しました。

この結果、当社グループの当中間連結累計期間の売上収益は67億3千6百万円(前年同期比8.1%減)、営業損失は2億8千2百万円(前年同期営業損失4千7百万円)、親会社の所有者に帰属する中間損失は3億4千4百万円(前年同期親会社の所有者に帰属する中間損失3億6千8百万円)となりました。

通期の業績見通しについて

当社のBtoC事業は第3四半期、BtoB事業は第4四半期にそれぞれの需要期を迎えることから、当社グループの業績は、売上、利益ともに下半期に偏重する傾向があります。

2025年3月期の連結売上収益は160億円、営業利益5億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は2億円を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月

連結業績ハイライト(国際会計基準)

	第75期 2023年3月期	第76期 2024年3月期	第76期(中間) 2023年9月期	第77期(当中間) 2024年9月期
売上収益(百万円)	15,699	15,672	7,326	6,736
営業利益(百万円)	563	445	△ 47	△ 282
税引前当期利益(百万円)	341	5	△ 357	△ 361
親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)	305	△ 53	△ 368	△ 344
基本的1株当たり当期利益(円)	10.60	△ 1.85	△ 12.78	△ 11.96
資産合計(百万円)	10,958	11,922	11,594	11,404
資本金合計(百万円)	3,112	3,574	3,129	2,984

音響機器事業 72.0%

売上収益 4,853百万円
(前年同期比 8.2%減)

セグメント営業利益 332百万円
(前年同期比 33.0%減)

プレミアムオーディオ機器 (ESOTERICブランド、TEACブランド) は、ESOTERICブランドにおいて、SACDプレーヤー、ネットワークプレーヤーが好調に推移しました。TEACブランドにおいては、新製品のUSB DACと欧州でターンテーブルの販売が好調に推移しました。輸入ブランドにおいては、各ブランドのスピーカーが好調に推移しました。その結果、プレミアムオーディオ機器全体として、前年同期比で増収となりました。

音楽制作・業務用オーディオ機器 (TASCAMブランド) は、BtoB事業において、音響設備工事案件の需要増により主力録音再生機などの販売が好調に推移しましたが、前年同期に業務用ミキサーの海外での販売を開始したことによる反動減もあり、前年同期並みに推移しました。

BtoC事業において、マルチトラックレコーダーやビデオグラファー向けレコーダーなどの新製品の受注は好調でしたが、エントリー向け現行品は市中在庫の販売が進まず低調な推移となりました。その結果、音楽制作・業務用オーディオ機器全体では前年同期比で減収となりました。

- ハイエンドオーディオ機器
- プレミアムオーディオ機器
- 音楽制作・業務用オーディオ機器

オリジナルブランド

ESOTERIC TEAC TASCAM

情報機器事業 23.1%

売上収益 1,554百万円
(前年同期比 2.2%減)

セグメント営業損失 102百万円
(前年同期セグメント営業損失97百万円)

計測機器は、データレコーダーの出荷が防衛関連向けを中心に好調に推移、生体測定装置の販売も好調でしたが、センサーおよびデジタル指示計において、コアとなる半導体市場向けが需要回復の遅れにより低調だったことから、カテゴリー全体では前年同期比で減収となりました。

医用画像記録再生機器は、国内向けの消化器内視鏡向けレコーダーが低調な推移となりましたが、Full HDレコーダーは堅調に推移、フラッグシップモデルの4K手術画像記録用レコーダーも新たなOEM採用が決まるなど好調に推移し、前年同期比で増収となりました。

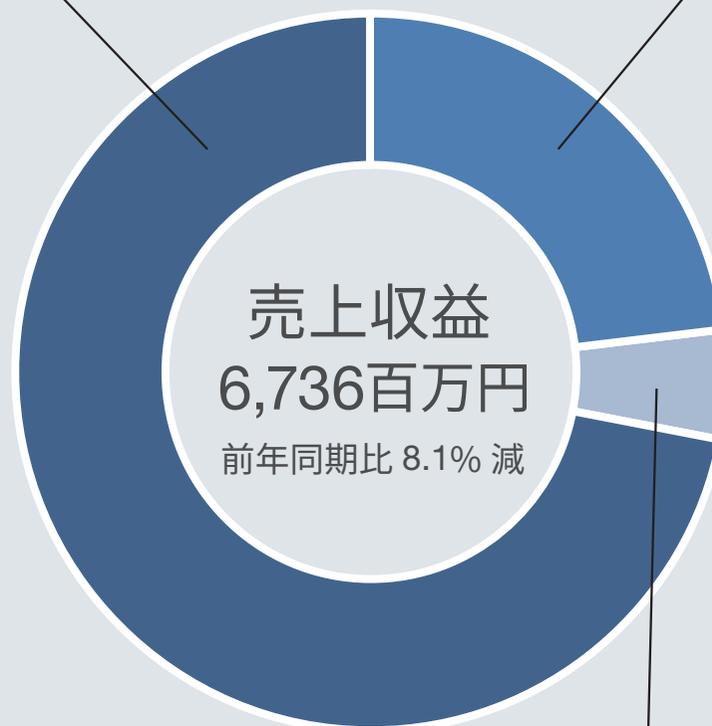
機内エンターテインメント機器は、欧州やアジア、中東におけるシステムサプライヤーとのパートナーシップ拡大により引合いが大きく増加、国内では航空業界以外の市場開拓も進みましたが、機内サーバーの販売が低調に推移し、前年同期比で減収となりました。

ソリューションビジネスは、医用向けサーバーの出荷と受託開発案件の受注が好調に推移し、ネットワーク・インフラの保守も堅調だったことで、前年同期比で増収となりました。

- 計測機器 トランスデューサー
データレコーダー
- 医用画像記録再生機器
- 機内エンターテインメント機器
- ソリューションビジネス

オリジナルブランド

TEAC



その他事業 4.9%

売上収益 329百万円
(前年同期比 26.9%減)

セグメント営業利益 34百万円
(前年同期セグメント営業利益61百万円)

- EMS事業
- 産業用光ドライブ

要約連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	当中間期 2024年 9月30日現在	前期 2024年 3月31日現在
■ 資産		
流動資産	8,914	9,286
現金及び現金同等物	1,347	1,227
営業債権及び その他の債権	2,433	3,517
棚卸資産	4,925	4,214
その他の流動資産	209	328
非流動資産	2,490	2,585
有形固定資産	2,077	2,211
無形資産	132	107
繰延税金資産	31	15
その他の金融資産	134	132
その他の非流動資産	117	119
資産合計	11,404	11,871

(単位:百万円)

	当中間期 2024年 9月30日現在	前期 2024年 3月31日現在
■ 負債		
流動負債	6,265	5,434
社債及び借入金	2,985	2,110
リース負債	380	367
営業債務及びその他の債務	1,412	1,504
引当金	671	657
未払法人所得税	4	22
その他の流動負債	813	775
非流動負債	2,155	2,862
社債及び借入金	1,007	1,478
リース負債	634	792
長期未払金	428	511
引当金	44	44
繰延税金負債	16	17
その他の非流動負債	26	21
負債合計	8,421	8,297
■ 資本		
親会社の所有者に帰属する持分	2,984	3,574
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	11	11
自己株式	△ 122	△ 122
利益剰余金	1,808	2,181
利益剰余金 (IFRS移行時の累積換算差額)	△ 3,430	△ 3,430
その他の資本の構成要素	1,217	1,433
非支配持分	0	0
資本合計	2,984	3,574
負債及び資本合計	11,404	11,871

要約連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間期 2024年4月1日~ 2024年9月30日	前中間期 2023年4月1日~ 2023年9月30日
売上収益	6,736	7,326
売上原価	3,804	4,097
売上総利益	2,932	3,228
販売費及び一般管理費	3,219	3,283
その他の損益	4	8
営業利益(△損失)	△ 282	△ 47
金融収益	20	4
金融費用	98	314
税引前中間利益(△損失)	△ 361	△ 357
法人所得税費用	16	11
中間利益(△損失)	△ 344	△ 368
中間利益(△損失)の帰属先		
親会社の所有者	△ 344	△ 368
非支配持分	—	—

要約連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

	当中間期 2024年4月1日~ 2024年9月30日	前中間期 2023年4月1日~ 2023年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	105	△ 211
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 85	△ 54
財務活動による キャッシュ・フロー	150	97
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 49	59
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	121	△ 110
現金及び現金同等物 期首残高	1,227	1,196
現金及び現金同等物 中間期末残高	1,347	1,086

要約連結持分変動計算書 (2024年4月1日~2024年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	自己 株式	利益 剰余金	利益 剰余金 (IFRS移行時の 累積換算差額)	その他の 資本の 構成要素	合計		
当期首残高	3,500	11	△ 122	2,181	△ 3,430	1,433	3,574		3,574
中間包括利益									
中間利益(△損失)				△ 344			△ 344		△ 344
その他の包括利益						△ 217	△ 217		△ 217
中間包括利益合計	—	—	—	△ 344	—	△ 217	△ 561		△ 561
配当金				△ 29			△ 29		△ 29
自己株式の取得			△ 0				△ 0		△ 0
自己株式の処分									—
その他							—		—
当中間期末残高	3,500	11	△ 122	1,808	△ 3,430	1,217	2,984		2,984

※連結財務諸表の記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

Point 1 連結財政状態計算書

< 資産合計 >

現金及び現金同等物の増加121百万円、営業債権及びその他の債権の減少1,084百万円、棚卸資産の増加711百万円となり、前期末と比較し466百万円の減少となりました。

< 負債合計 >

社債及び借入金の増加404百万円、営業債務及びその他の債務の減少92百万円、リース負債の減少144百万円となり、前期末と比較し124百万円の増加となりました。

Point 2 連結損益計算書

< 売上収益、親会社の所有者に帰属する中間利益 >

機内エンターテインメント機器、およびTASCAMブランドBtoC事業の内エントリ向け現行品の販売が低調に推移したことから、売上収益及び営業利益は前年同期と比較して減少しました。また、為替相場の変動に伴い第1四半期に計上した為替差損が差益に転じたことから、親会社の所有者に帰属する中間損失は前年同期と比較して減少しました。

Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

< 営業活動によるキャッシュ・フロー >

主な内訳は、プラス要因として減価償却費及び償却費247百万円、金融収益及び金融費用81百万円、営業債権及びその他の債権の減少額1,054百万円。マイナス要因としては、中間損失344百万円、棚卸資産の増加額873百万円。

< 財務活動によるキャッシュ・フロー >

プラス要因として、短期借入金の増加額1,189百万円、マイナス要因としては、長期借入金の返済による支出773百万円、リース負債の返済による支出190百万円。



TEAC

Reference 500シリーズ
USB DAC/ヘッドホンアンプ

UD-507

『UD-507』はデスクトップオーディオに最適なコンパクトサイズのラインナップで定評のあるTEAC Reference 500シリーズの中でも特に人気の高いUSB DAC/ヘッドホンアンプカテゴリのUDシリーズの最新モデルとなります。

『UD-507』の最大の特長は、上位モデルの『UD-701N』や『VRDS-701』の開発で培ったTEACのオリジナルディスクリートDAC開発の知見を活かして開発した新設計の「TRDD 5 (TEAC Reference Discrete DAC 5)」を搭載したことです。

デスクトップでも使用可能なコンパクトサイズに、上位モデルと同等の回路規模を持つDACを収めることで、さらに多様なユーザーにTEACのオリジナルディスクリートDACの優れた音質を楽しんでいただけるようになりました。

TRDD5
TEAC Reference Discrete DAC



ESOTERIC

スーパーオーディオCD/CDプレーヤー

K-01XD SE / K-03XD SE

新しいディスクリート・クロック技術とアナログ部のアップグレードを加えたSEモデル『K-01XD SE』、『K-03XD SE』が登場。

Kシリーズは2010年に『K-01』、『K-03』が登場して以来、その類まれなる音楽再生能力が高く評価され、世界中でデジタルプレーヤーのリファレンス機としての地位を不動のものとししました。

『K-01XD SE』は、『Grandioso K1X SE』の流れを汲むターンテーブル・ブリッジ部の厚みが20mmの「ATLAS 01」VRDSメカニズムを搭載し、「Master Sound Discrete DAC」も「IDM-01」増幅素子など、よりプレミアムの高い部品を採用し、左右のDACに専用の電源部を持たせた、合計4基の独立電源トランスを搭載。

『K-03XD SE』は、ブリッジ厚18mmの「ATLAS 03」VRDSメカニズム、「Master Sound Discrete DAC」を採用し、合計2基の独立電源トランスを搭載しています。そして、Grandioso SEモデルで採用された「Master Sound Discrete Clock」を新たに搭載し、DACのアナログ回路をブラッシュアップすることで、更に進化した臨場感、ダイナミクス、音楽性に溢れた音色のテクスチャーをお楽しみいただけます。



TASCAM

32ビットフロート対応2chポータブルフィールドレコーダー/タイムコードジェネレーター

FR-AV2

『FR-AV2』は、機器間のタイムコード同期のマスター機となるジェネレーター機能をレコーダー本体に内蔵し、外部機器を別に用意することなく同期システムの構築を可能にしました。加えて他のタイムコード機器との入出力にも対応し、シームレスなタイムコード同期システムを実現します。音声モニターにおいては、オプションのBluetooth®アダプター『AK-BT2』を装着することでBluetooth®接続でのワイヤレスヘッドホンの使用や、ワイヤレスタイムコード同期、モバイルアプリでの監視や録音操作が可能。さらに、デュアルA/Dコンバーターを搭載し、32ビットフロート録音に対応。サンプリング周波数最大192kHzでの音割れしない録音と小型化を両立しています。

映画やドラマ、報道、結婚式、イベント等の映像制作において、幅広い収録用途に対応する機能と音質、機動性を兼ね備えた、ビデオグラファーのためのオールインワン音声収録ソリューションです。



TEAC

ワイドバンドデータレコーダー

WX-9000シリーズ

スタンドアロン、高帯域、多チャンネルの、ワイドバンドデータレコーダー『WX-9000シリーズ』を、2025年1月より販売します。

『WX-9000シリーズ』は、データ記録の確実性、信頼性が強く求められる、主に航空宇宙、鉄道、電力、防衛などの基幹産業における高帯域、多チャンネル計測にご利用いただくことを目的とした製品です。

従来製品の『WX-7000シリーズ』と比べ、高サンプリングかつ記録レートの改善、高ダイナミックレンジを実現し機能・性能など基本仕様を大幅に改善したことに加え、記録媒体は、入手性が良く安価な2.5インチSATA SSD(最大4TB)を採用。本体タッチパネルやジョグダイヤルで設定・操作が出来、本体での記録波形表示も可能、1ユニットですべて完結できます。また、ユニットの分散配置、スタック接続によるケーブルレスなど、ランニングコストの低減やユーザービリティの向上を実現しています。

会社の概要

商号 ティアック株式会社
(TEAC CORPORATION)
本社 〒206-8530
東京都多摩市落合一丁目47番地
設立 1953年8月26日
資本金 35億円
事業年度 4月1日～翌年3月31日
代表者 代表取締役社長 英 裕治
従業員数 単体 251名 連結 579名

● 国内拠点

ティアック株式会社
本社 [東京都]
EMCセンター [埼玉県]
大阪営業所 [大阪府]
名古屋営業所 [愛知県]
ティアック マニファクチャリング ソリューションズ株式会社 [東京都]
ティアックカスタマーソリューションズ株式会社 [埼玉県]
ティアックシステムソリューションズ株式会社 [東京都]

● 海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [米国]
TEAC EUROPE GmbH [ドイツ]
TEAC UK LTD. [英国]
TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [中国]
TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [香港]
DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [中国]

役員

代表取締役社長 英 裕 治
取締役 倉 原 良 弘
取締役 金 子 靖 代
取締役(監査等委員) 林 健 二
取締役(監査等委員) 原 琢 己
取締役(監査等委員) 坂 口 洋 二

株式の状況

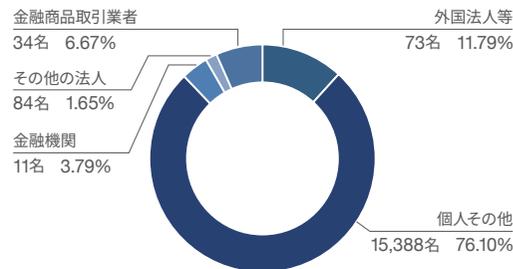
発行可能株式総数 … 40,000,000株
発行済株式の総数 … 28,803,792株
(自己株を除く)
株主数 …………… 15,590名

大株主 (上位10名)

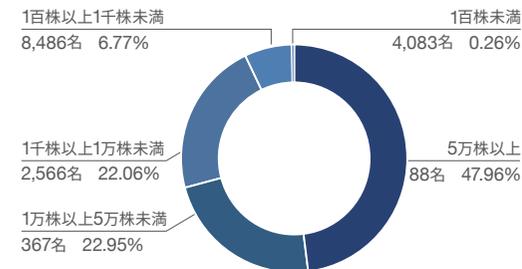
株 主 名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
松尾 博	738	2.56
力丸 米雄	711	2.47
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	702	2.44
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	650	2.26
JP JPMSE LUX RE BARCLAYS CAPITAL SEC LTD EQ CO	596	2.07
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	562	1.95
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	549	1.91
勝山 隆一郎	450	1.56
ティアック社員持株会	363	1.26
GMOクリック証券株式会社	291	1.01

※ 持株数は表示単位未満を、出資比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。
※ 持株比率は、自己株式(127,921株)を控除して計算しております。

株式所有者別状況



株式所有数別状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日 3月31日
単元株式数 100株
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711(通話料無料)
(郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 スタンダード市場
公 告 の 方 法 電子公告により行う。
公 告 掲 載 URL <https://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告します。)

【 株式事務に関するご案内 】

1. 各種お手続きのお問合せ窓口について
株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取請求のご案内

単元未満株式(100株に満たない株式)については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却していただくことができます。当社は、単元未満株式の買取請求に係る当社手数料を無料(注)としておりますので、本制度のご利用をご検討くださいますようお願い申し上げます。
(注) 無料となる手数料は当社に係る手数料です。証券会社等において取次手数料等がかかる場合もあります。



ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
TEL 042-356-9100 (代表)

ホームページアドレス <https://www.teac.co.jp/jp/>